

かんたん設定マニュアル (1)

各ステップのメニュー部分をクリックすると説明ページを参照できます



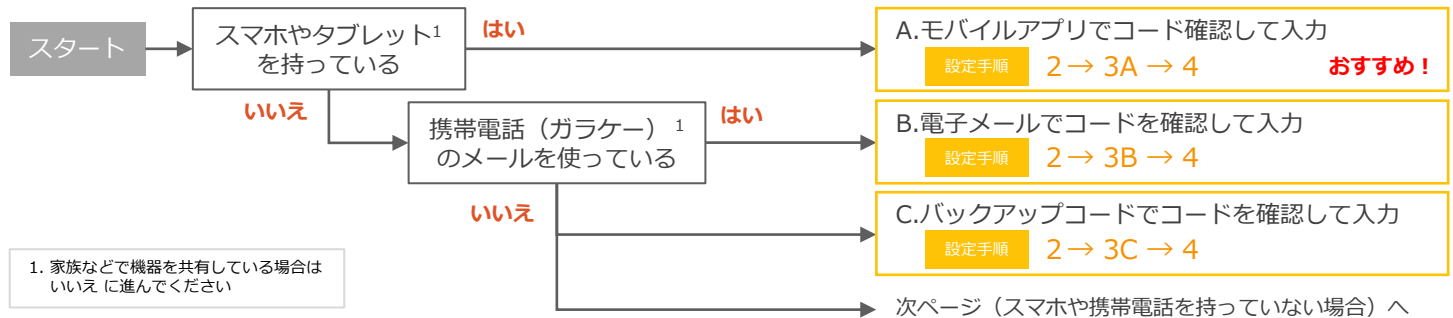
設定方法説明ページ (広大ID)

広大IDの多要素認証とは？

- ✓ 広大IDは職員番号や学生番号, 利用登録証の番号です (例: B209999)
- ✓ **Myもみじ**, **いろは**, **Bb9**などへのログインで利用しています
- ✓ 学外からアクセスしたときに2要素目 (パソコンとは異なる機器) による認証が必要になります

設定は2要素目として利用する機器によって異なります。スマートフォンや電話などの2要素目となる機器を手元にご準備ください。

1 2要素目の認証方法を決める



2 パソコンを使って2要素目の設定をする

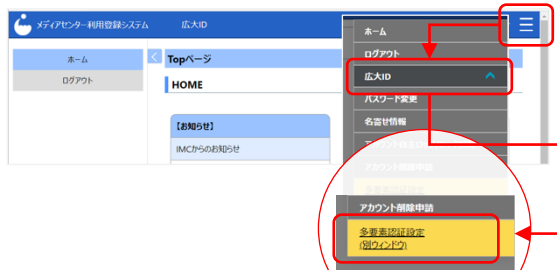
パソコンのブラウザでメディアセンター利用登録システムにアクセスします。

URLにアクセス

<https://reg.huc.hiroshima-u.ac.jp>



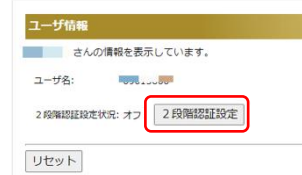
① [広大IDでログイン]からパスワード入力



② 右上の☰から [広大ID] → 多要素認証設定 (別ウィンドウ)



③ 広大IDとパスワードでログイン



④ [2段階認証設定]をクリック

次は3A, 3B, 3Cのいずれかの設定に進んでください。

3A モバイルアプリを設定する

アプリをダウンロードして設定画面に表示されるQRコードを読み取ります。



ダウンロード



① [Microsoft Authenticator] をインストール



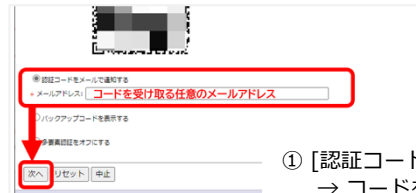
② アプリを起動 → 追加 → 職場または学校アカウント → QRコードをスキャン

③ アプリに表示されたコード (6桁) を [認証コード] に入力して確認

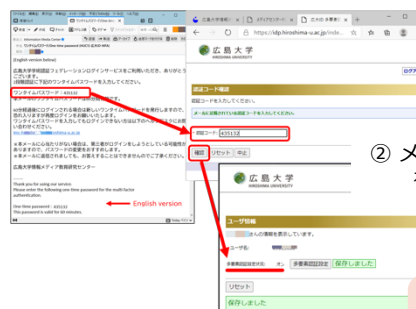
多要素認証設定状況が [オン] になれば設定は完了

3B 電子メールを設定する

コードを受け取るメールアドレスを指定してメールを確認します。



① [認証コードをメールで通知する]を選択 → コードを受け取るメールアドレスを入力



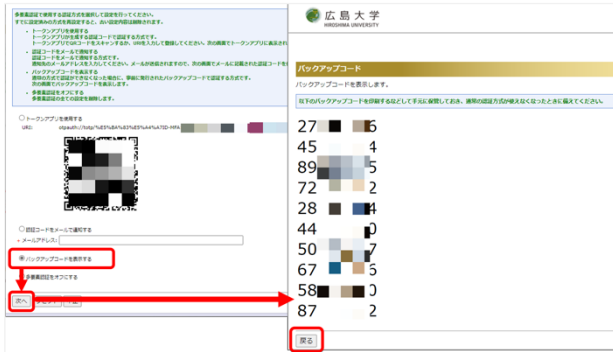
② メールで受け取ったコード (6桁) を [認証コード] に入力して確認

多要素認証設定状況が [オン] になれば設定は完了

かんたん設定マニュアル (2)

3C バックアップコードを取る

バックアップコードは、スマホアプリの認証や電子メールでの認証ができない場合にもログインできるようにするためのものです。



多要素認証設定状況が【オン】になれば設定は完了

- ① [バックアップコードを表示する] を選択
→ 表示される10個のコードを記録

4 設定後の動作確認をする

最後に、実際に多要素認証の動作を確認します。

多要素認証は学内ネットワークからのアクセスではスキップされますので、動作確認は学外ネットワーク（自宅やスマホのテザリング、eduroamなど）から行ってください。



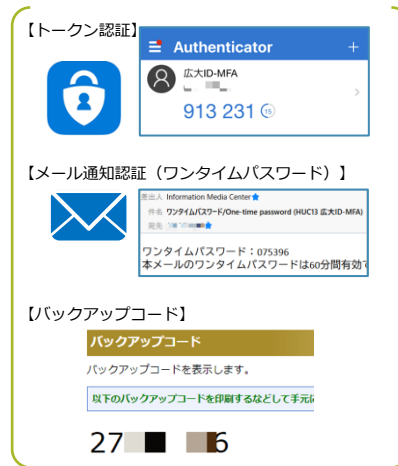
- ① Myもみじ, いろいろ にアクセス



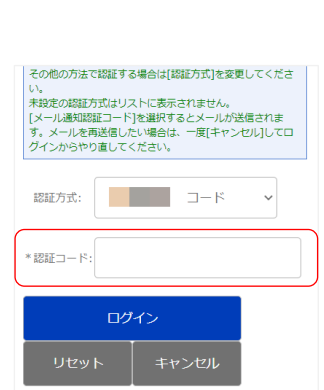
- ② 広大IDとパスワードでログイン



- ③ [認証方式] を方法を選択



- ④ 2要素目でコードを取得



- ⑤ コードを入力してログイン完了

② こんなときは？

- 現在の多要素認証の設定状況を確認する方法はありますか？
✓ 学外ネットワーク（自宅やスマホのテザリング、eduroamなど）からいろいろはもみじにログインする際、パスワード入力後にコード入力が表示される場合は設定が有効になっています。
- スマホを機種変更した場合はどうすればよいですか？
✓ 認証方法の変更が必要になります。学内ネットワーク（HU-CUPなど）であれば2要素目はスキップされますので、学内ネットワークに繋いで変更をしてください。
- 不具合が出たため、多要素認証を一旦無効化（設定変更）したい場合はどうすればよいですか？
✓ 学内ネットワーク（HU-CUPなど）から「2. パソコンを使って2要素目の設定を行う」に従って [多要素認証をオフにする] を選択します。



メディアセンターFAQサイトに詳細を掲載しています

△ スマホや携帯電話を持っていない場合の対応について

使用するパソコンのWebブラウザの拡張機能を利用して多要素認証を行うことができます。パソコンにログインパスワードを設定して、第三者が利用できないようにしっかり管理されている場合のみご利用ください。

設定方法に関するFAQページ
https://help.media.hiroshima-u.ac.jp/index.php?solution_id=1170

かんたん設定マニュアル (1)

各ステップのメニュー部分をクリックすると説明ページを参照できます



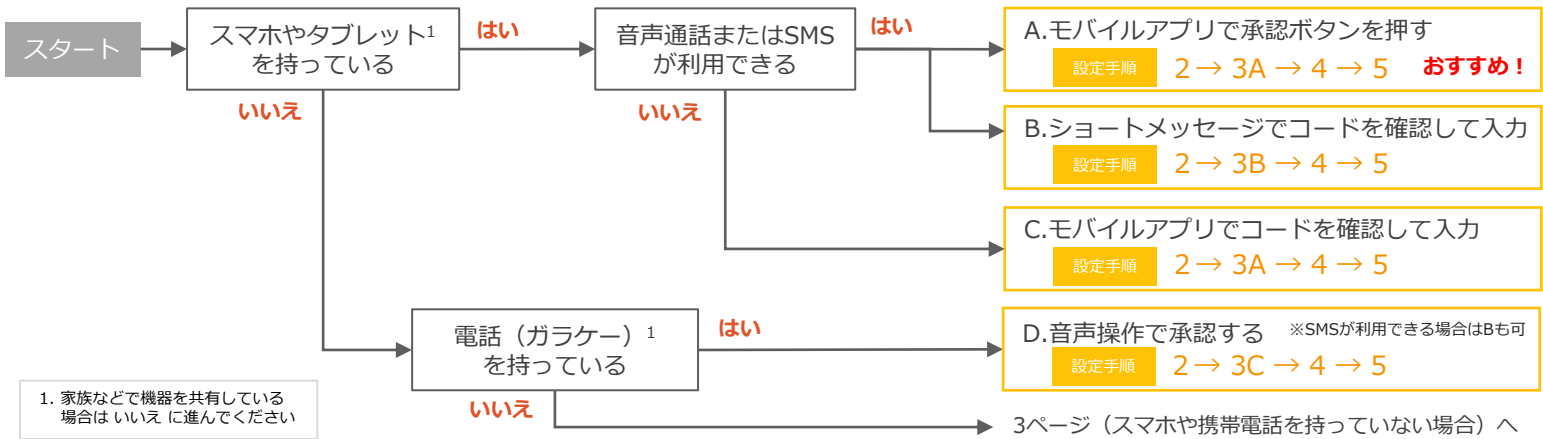
設定方法説明ページ (IMCアカウント)

IMCアカウントの多要素認証とは？

- ✓ IMCアカウントは (学生の場合) **学生番号の最初の英字を小文字にしたもの**, (職員の場合) **自分で作成した英数字3-8文字の文字列** で示される番号です
- ✓ **広大メール, VPNアクセスやOffice365, Teams**などのログインで利用しています
- ✓ 学外からアクセスしたときに2要素目 (パソコンとは異なる機器) による認証が必要になります

設定は2要素目として利用する機器によって異なります。スマートフォンや電話などの2要素目となる機器を手元にご準備ください。

1 2要素目の認証方法を決める



2 パソコンで多要素認証の申請を行う

パソコンのブラウザで**IMCアカウント多要素認証設定フォーム**にアクセスします。

① IMCアカウントとパスワードでログイン

② 設定値を「有効」にして送信

③ 設定値が有効になっていることを確認

3A モバイルアプリでの設定を行う

※ 1で「C.モバイルアプリでコードを確認して入力」の場合は、③で「確認コードを利用する」を選択してください

アプリをダウンロードして設定画面に表示されるQRコードを読み取ります。

① [Microsoft Authenticator] をインストール

② パソコンでOffice365にログイン → [詳細情報が必要] を次へ

③ 追加のセキュリティ確認 [モバイルアプリ] → [確認のための通知を受け取る] → [セットアップ]

④ スマホアプリを起動 → 追加 → 職場または学校アカウント → QRコードをスキャン

⑤ スマホに項目が追加されたら [次へ]

⑥ 「通知と確認コード用にモバイルアプリが構成されました。」と表示されるまで待つ「次へ」

⑦ [次へ]をクリックすると、登録したスマホに確認通知が届くので「承認」をタップ

⑧ スマホアプリが利用できない場合に備えて**スマホの電話番号**を登録

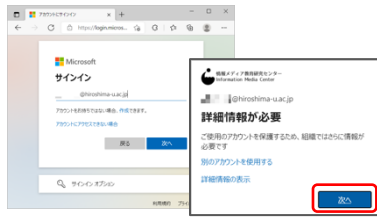
かんたん設定マニュアル (2)

3B ショートメッセージでの認証を行う

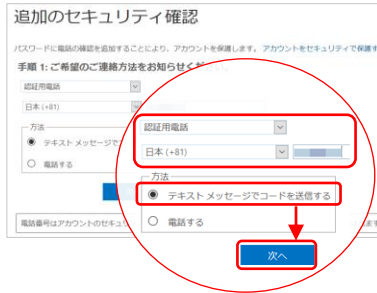
SMSでコードを受け取る電話番号を指定して確認します。

<https://portal.office.com>

- ① パソコンでOffice365にログイン
→ [詳細情報が必要] を次へ



- ② 追加のセキュリティ確認
[認証用電話]
→ [国/地域] を選択
[電話番号] を入力
→ [テキストメッセージで
コードを送信する]
→ [次へ]



- ③ [次へ] をクリックすると、登録した電話番号の携帯やスマホに
確認コード(ショートメッセージ)が届くので、**コードを入力**して
「確認」



3C 電話の音声操作での認証を行う

音声操作を受ける電話番号を指定して確認します。

<https://portal.office.com>

- ① パソコンでOffice365にログイン
→ [詳細情報が必要] を次へ



- ② 追加のセキュリティ確認
[認証用電話]
→ [国/地域] を選択
[電話番号] を入力
→ [電話する]
→ [次へ]



- ③ [次へ] をクリックすると、登録した電話番号(携帯や固定電話、スマホ)
にMicrosoftから音声電話がかかってくるので、音声にしたがって
「#」



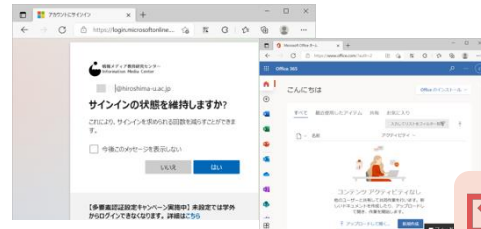
4 追加のセキュリティ設定 (アプリパスワード)

最後にアプリパスワードの確認を行った後に、ポータルにサインインして設定完了です。

アプリパスワードは多要素認証に対応していないアプリ(メールソフトなど)を利用するために発行するパスワード(16桁のランダム文字)です。アプリパスワードの取得は後からでも可能です。



- ① 「既存のアプリケーションを引き続き使用する」が表示されるので
必要な方はパスワード(「このアプリパスワードで今すぐ開始」の下)
控えてから「完了」をクリック



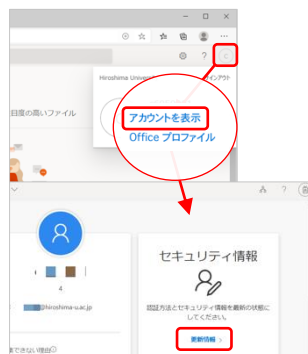
ログインできれば
設定は完了

- ② Office365ポータルへのサインイン
画面になるため、サインインする

多要素認証設定後のアプリパスワード取得や2要素目の変更方法

多要素認証設定後に設定を変更する場合は、Office365のポータルから行います。

- ① Office365にログイン
→ 右上のプロフィールアイコンをクリック
→ アカウントを表示
→ セキュリティ情報 > [更新情報]
- ② ・アプリパスワードの取得の場合
[方法の追加] → アプリパスワード
・2要素目変更の場合
[規定のサインインの方法] を変更



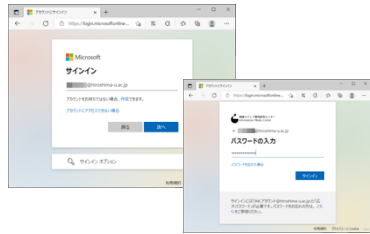
かんたん設定マニュアル (3)

5 設定後の動作確認をする

最後に、実際に多要素認証の動作を確認します。

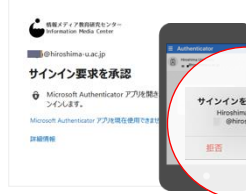
多要素認証は学内からのアクセスではスキップされますので、動作確認は学外から行ってください。

 <https://portal.office.com>



- ① パソコンでOffice365にアクセスし
IMCアカウントとパスワードでログイン

【アプリのプッシュ通知】



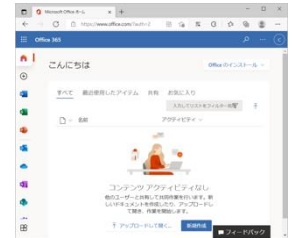
【SMSによるコード入力】



【音声操作による承認】



- ② 設定した2要素目での認証を実施



- ③ ログイン完了

メールソフトをご利用の方は必ずご確認ください

広大メール (Microsoft365 Exchange Online) は、**先進認証 (別名: OAuth2.0)** に対応しています。

多要素認証設定後にメールソフトを利用する場合は、**先進認証設定かアプリパスワードのいずれかの設定が必要**になります。設定変更を行わない限り、メールの送受信はできません。

先進認証は、従来のID・パスワードを利用した認証 (基本認証) におけるセキュリティ上の問題を解決するため、アクセストークンとよばれる仕組みを利用してより高いセキュリティを確保した認証方式です。
先進認証に対応したメールソフトを利用することで、**多要素認証に対応したメールアクセスが可能**になります。

マイクロソフトのリリースでは2022年10月以降に基本認証が廃止されることが決定しています。
この機会に先進認証に対応したメールクライアントまたは、最新のマイクロソフト・Apple製メールクライアントの利用と設定にご協力をお願いします。

先進認証に対応したメールクライアント (2021年10月時点)

iOS/Android版Outlookアプリ, macOS/iOS標準メールクライアント,
Thunderbird(78.3.1以降), Becky! Internet Mail (v2.75.02以降) など

OAuth2.0に対応したThunderbirdの設定方法をメディアセンターのホームページで紹介しています。

メディアセンターホームページ
→ すべてのサービス
→ 広大メール
→ メールソフト
→ Thunderbirdの設定例



② こんなときは？

- 現在の設定状況を確認する方法はありますか？
✓ 学外ネットワーク (自宅やスマホのテザリング, eduroamなど) からOffice365にログインする際、2要素目を聞かれる場合には多要素認証が有効になっています。
- 多要素認証を設定したら広大メールの送受信ができなくなりました。どうしたらよいですか？
✓ 多要素認証に対応していないメールソフトを利用している場合はアプリパスワードの設定が必要になります。前ページの「アプリパスワード」の内容を確認して設定をしてください。
上に記載した「メールソフトをご利用の方は必ずご確認ください」も確認してください。
- 不具合が出たため、多要素認証を一旦無効化したい場合はどうすればよいですか？
✓ 学内ネットワーク (HU-CUPなど) から「2. パソコンで多要素認証の申請を行う」に従い設定を [無効] にします。IMCアカウントの多要素認証設定が無効・初期化されます。



メディアセンターFAQサイトに
詳細を掲載しています

⚠️ スマホや携帯電話を持っていない場合の対応について

使用するパソコンのWebブラウザの拡張機能を利用して多要素認証を行うことができます。

パソコンにログインパスワードを設定して、**第三者が利用できないようにしっかり管理されている場合のみ**ご利用ください。

設定方法に関するFAQページ

https://help.media.hiroshima-u.ac.jp/index.php?solution_id=1170